霧ケ峰・車山

【行程のご案内】上諏訪駅（１０．００)集合

又は新宿西口・バスターミナル（７．００)集合・岡谷行きバス（７．２０）――中央高速――（１０．２１）上諏訪駅――タクシー――登山口（１１．００）――（１２．００）山頂――昼食――出発（１２．３０）――（１４．００）旧御射山――（１５．００）八島――タクシー――上諏訪駅・解散・（１５．５８）――高速バス――（１９．００）新宿

◎バス乗車券が予約購入の為、遅刻なさった場合でも往復料金を頂きます。

当日現地ご連絡先：

【コースの概略】
上諏訪駅から三十分ほどでコロボックルヒュッテに着きます、此処から山頂までは広く緩やかな道を散歩気分で登り、昼食・休憩後、車山乗越、車山湿原、旧御射山から八島湿原を半周して八島に着きます、此処からタクシーで、上諏訪駅に戻ります。

【車山】
霧ヶ峰の最高峰１９２５ｍ、果てしなく広がる草原の山頂からは、先ず蓼科山が目に飛び込み、車山湿原、八島ケ原湿原、鷲ケ峰、美ヶ原、南アルプス、北アルプス、更に富士山、３６０度の大パノラマが見られます。

【霧ヶ峰】
夏の最高気温は二十三℃、冬の最低気温はマイナス二十五℃前後、また、気温が０℃以上になる日は、五月中旬から十月上旬までの百二十日から百三十日程、また、南西の強風が四日に一度は吹き、記録に有る最大風速は五十五メートル、と、厳しい気象条件の場所ながら、霧ヶ峰全域に生育する植物の種類は数百種に及び、特に湿性植物には、学術的にも貴重な物も数多く有ります。

その中で七月を代表するのがニッコウキスゲですが、その他にも、ワタスゲ、ウスユキ草、コオニユリ、コオリンカ、シモツケソウ、カラマツソウ、ゼンテイカ、オダマキ、ナデシコ、ギボウシ、フウロ草が咲きます。

霧ヶ峰の代表的な湿原は三ヶ所で、車山湿原、八島ヶ原湿原、池ノくるみ湿原でこの形成には数千年の歳月を要したと云われてます、湿原そのものがカラフト、シベリヤのツンドラ地帯に似て居り北方系植物の混生がが見られます。

【八島ケ原高層湿原】
霧ヶ峰に有る湿原中もっとも大きく、八島ケ原の泥炭層の厚さは８．５ｍ、１ｍの堆積に千年かかると云われてますので、この形成には一万年の歳月が経過したと見られ、学術的にも貴重なもので、素晴らしい景観とともに国の天然記念物の指定を受け、厳しい管理のもとに保護されてます。なお、高層湿原とは低層湿原に対する言葉で、泥炭層の厚さに依って区別するそうです。

［新宿・高速バス］　（バスはトイレ付きです）

新宿バスセンター（７．２０）諏訪岡谷線――中央道三鷹（７．４０）――中央道府中（７．４６）――中央道八王子（８．０２）――（１０．２１）上諏訪駅
料金：片道￥３，０６０．　往復￥５，５００．（往復乗車券購入予定）

帰り上諏訪発新宿西口行バス時刻：１４．５８，　１５．５８，　１６，５０，　１８．２０，　１９．２８，

◎タクシーは一台￥５，０００．ですので一人ご負担は往復約￥２，０００．です

昭文社版・山と高原地図「美ヶ原・霧ヶ峰」複写見本です正確なものは書店でお買い求め下さい